

# HT8-PCBキャピラリーカラムを用いた カネクロール中のPCB異性体組成の検討

姉崎 克典    山口 勝透    岩田 理樹

## 要 約

PCB製品 (commercial PCB formulations) である4種のカネクロール (KC300、KC400、KC500、KC600) の全コンジェナー分析を高分離能ガスクロマトグラフィー高分解能質量分析計により行った。キャピラリーカラムにはHT8-PCBを用いることにより、209種のコンジェナーのうち193種のピークが得られた。それぞれのカネクロールの同族体組成はKC300では3塩素化体が、KC400では4塩素化体が、KC500では5塩素化体が、そしてKC600では6及び7塩素化体が大半を占めた。また、いずれのカネクロールでも特異的に観察されるコンジェナーは共通しており、一方で全く検出されないコンジェナーも多数あった。次に、コンジェナーの組成について文献値との比較を行い、概ね既報と同等の組成比であったことが確認された。

北海道環境科学研究センター所報 第34号 2008

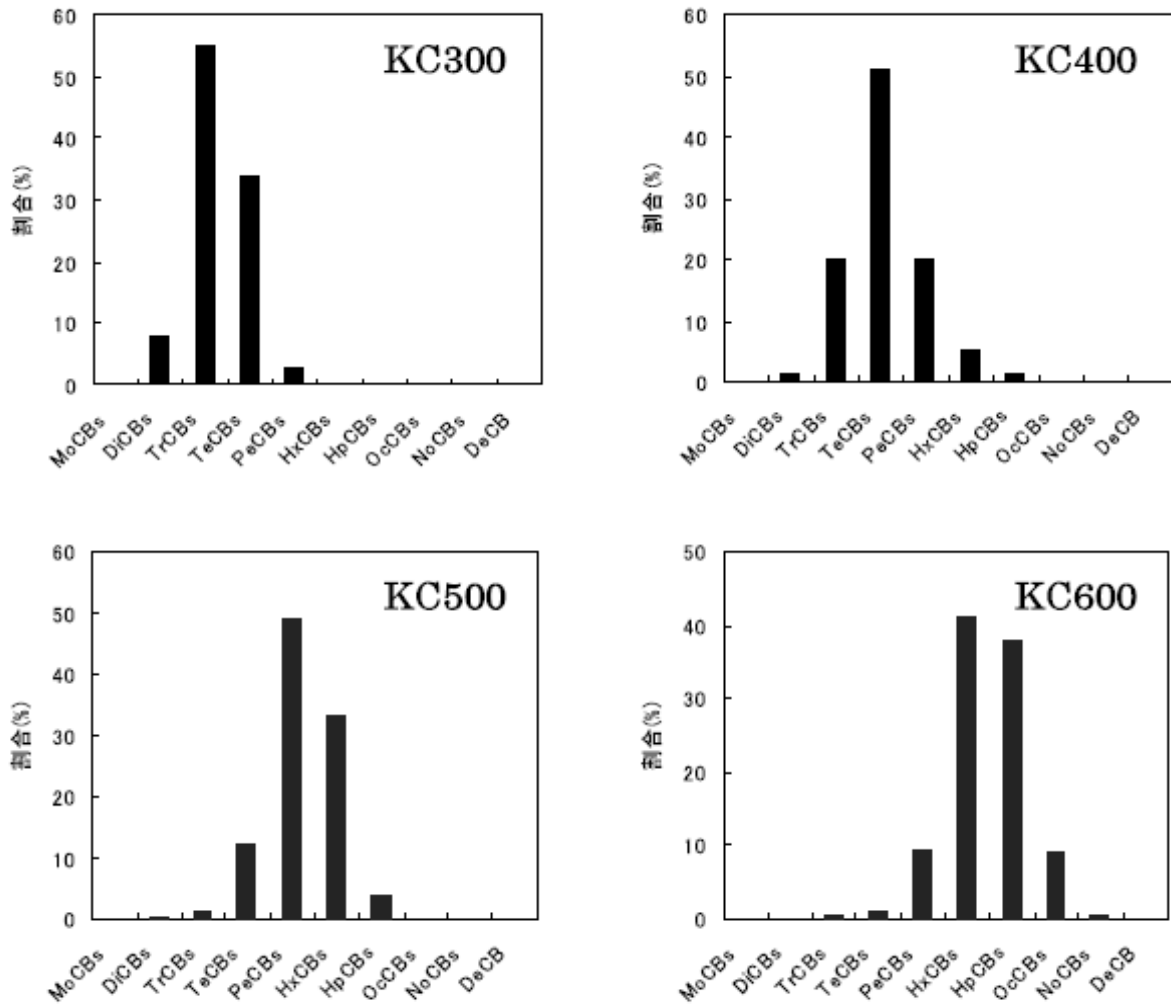


図1 カネクロールの同族体組成